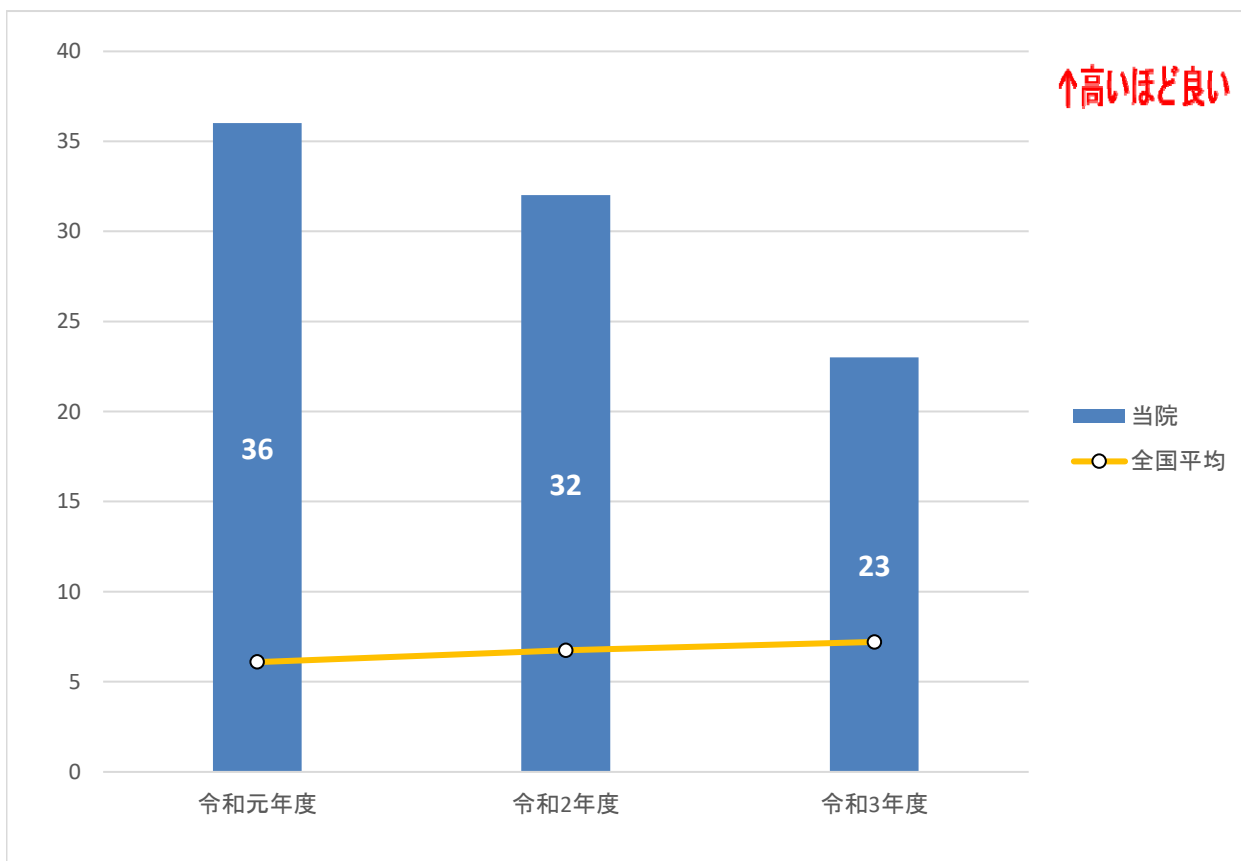


## 超重症児の手術件数

### 解説

超重症児とは、食事摂取機能の低下や栄養吸収不良などの消化器症状、呼吸機能の低下のために濃密な治療を必要とする小児です。超重症児の手術は健康な小児の手術に比べ、より高度な医療技術と治療体制が必要です。熟練した小児外科医や麻酔科医の配置が必要ですので、小児医療の質の高さを表す指標となります。

当院では、小児科、周産母子センターをはじめとした診療科、センターと連携を行い、診療を行っています。また、小児心臓病診療に関する北陸地区のセンター施設として位置づけられています。



(単位:件)	当院	全国平均
令和元年度	36	6
令和2年度	32	7
令和3年度	23	7

### 項目定義

医科診療報酬点数表における、「A212・1イ 超重症児入院診療加算」及び、「A212・2イ 準重症児入院診療加算」を算定した患者の手術(医科診療報酬点数表区分番号K920、K923、K924(輸血関連)以外の手術)件数です。